

# 東京女子医科大学学会

## 2022年評議員会および第88回総会報告

2022年9月6日(火)の評議員会の結果に基づき、総会を9月9日(金)～9月23日(金)を  
書面表決期間とする書面開催とし、すべての議事について承認された。

### 【議題1】庶務報告

2021年1～12月の庶務報告として以下のとおり報告する。

1. 会員(2022年5月末時点):  
正会員は748名で、昨年報告した707名より41名増加。
2. 和文誌『東京女子医科大学雑誌』(2021年1～12月):  
電子版は91巻1～5号の計5回発行した。6号は掲載できる論文がなく発行できなかった。冊子体は91巻1～5号と英文誌Volume 5を1冊にまとめた合本号1回を発行した。
3. 英文誌『Tokyo Women's Medical University Journal』(2021年1～12月):  
Volume 5は15篇を掲載した。
4. 集会(2021年1～12月):  
新型コロナウイルス感染症蔓延防止の観点より、いずれもWEB学会として開催した。  
第363回例会(2021年2月27日)は、研究奨励賞受賞者研究発表はオンデマンド配信、研修医症例報告13題はZoomミーティングにより行われた。第364回例会(2021年5月22日～24日)は、平成30年度吉岡博人記念総合医学研究奨励賞受賞グループ研究発表と記念講演をオンデマンド配信に代えて開催した。記念講演は、「吉岡彌生先生の精神から学ぶ」と題して1973年本学卒業生で本学理事長の岩本絹子先生より、また特定非営利活動法人Gender Action Platform理事の大崎麻子先生より「エンパワーメントの旅～わたしの仕事と生活」と題してご講演いただいた。第87回総会(2021年9月25日開催)は、総会は書面開催、シンポジウムはZoomウェビナーにより行った。シンポジウムテーマ「私たちはCOVID-19パンデミックをどのように乗り越えてきたのか?」として、5名よりお話しいただいた。
5. 記念楯(2021年1～12月):  
学会主催2個、共催0個、その他(退任幹事)6個の利用だった。
6. 新名誉会員:  
野村 実名誉教授、船津英陽名誉教授に、また、本会に対して特別な功労のある者として、清水京子前副会長/集会担当幹事長、尾崎 眞前集会担当副幹事長、江川裕人前編集担当副幹事長、内田啓子前庶務担当幹事、杉下智彦前会計担当幹事、の計7名に名誉会員の称号をお贈りする。
7. 幹事・監事改選:  
副会長:2022年4月1日より、佐藤麻子教授(臨床検査科)が就任した。  
会計担当幹事:2022年4月1日より、野原理子教授・基幹分野長(衛生学公衆衛生学)が就任した。集会と編集担当幹事を兼任する。  
庶務担当幹事:2022年4月1日より、私 小森(足立医療センター麻酔科)が就任し、集会と編集担当幹事を兼任する。  
編集担当幹事:2022年4月1日より、副幹事長に大月道夫教授・基幹分野長(内分泌内科)、幹事に石垣景子准教授(小児科)、桂 秀樹准教授(呼吸器内科)、小寺由人准教授(肝胆膵外科)、小川哲也教授(足立医療センター内科)が就任した。  
集会担当幹事:2022年4月1日より、幹事長に清水優子准教授(脳神経内科)、幹事に本多祥子准教授(解剖)、中神朋子教授(糖尿病・代謝内科)、高梨潤一教授(八千代医療センター小児科)が就任した。  
幹事・監事は9月30日に任期2年を迎えるが、会則第10条により再任された。

#### 編集担当幹事 21名

- 石田 英樹 教授(移植管理科)  
石垣 景子 准教授(医学部小児科学)\*  
岩崎 直子 教授(成人医学センター)  
水主川 純 教授・基幹分野長(医学部産婦人科学)  
桂 秀樹 教授(医学部呼吸器内科学)\*  
北川 一夫 教授・基幹分野長(医学部脳神経内科学)  
△小森万希子 教授(足立医療センター麻酔科)\*  
小寺 由人 准教授(医学部肝胆膵外科学)\*  
森本 聡 准教授(医学部高血圧内科学)

- 中村 史雄 教授・基幹分野長 (医学部生化学)
- 南家 由紀 准教授 (看護学部臨床医学系内科学)
- ▲野原 理子 教授・基幹分野長 (医学部衛生学公衆衛生学) \*
- 野中 学 教授・基幹分野長 (医学部耳鼻咽喉科学)
- 小川 哲也 教授 (足立医療センター内科) \*
- 大月 道夫 教授・基幹分野長 (医学部内分泌内科学) \*
- ◎齋藤 聡 准教授 (医学部心臓血管外科学)
- 櫻井 裕之 教授・基幹分野長 (医学部形成外科学)
- 篠崎 和美 准教授 (医学部眼科学)
- 田中 淳司 教授・基幹分野長 (医学部血液内科学)
- 時田 大輔 教授 (研究推進センター) \*
- 徳重 克年 教授・基幹分野長 (医学部消化器内科学)

#### 集会担当幹事 14名

- 本多 祥子 准教授 (医学部解剖学 (神経分子形態学)) \*
- 岩崎 直子 教授 (成人医学センター)
- 唐澤久美子 教授・基幹分野長 (医学部放射線腫瘍学)
- △小森万希子 教授 (足立医療センター麻酔科)
- 村崎かがり 教授 (予防医学科)
- ▲野原 理子 教授・基幹分野長 (医学部衛生学公衆衛生学) \*
- 齋藤 聡 准教授 (医学部心臓血管外科学)
- 佐藤 麻子 教授 (中央検査部臨床検査科)
- 中神 朋子 教授 (医学部糖尿病・代謝内科学) \*
- 中村 真一 教授 (医学部消化器内科学)
- 南家 由紀 准教授 (看護学部臨床医学系内科学)
- ◎清水 優子 准教授 (医学部脳神経内科学)
- 高梨 潤一 教授 (八千代医療センター小児科) \*
- 柳澤 直子 教授・基幹分野長 (医学部微生物学免疫学)

#### 監事 2名

- 石黒 直子 教授・基幹分野長 (医学部皮膚科学)
- 降矢 芳子 教授 (足立医療センターリハビリテーション科)
- [●副会長 ◎幹事長 ○副幹事長 ▲会計 △庶務 \*新任 ABC順]

#### 8. 新評議員:

2021年9月~2022年8月に准教授以上に就任し承諾された22名を新たに評議員とする。

#### 医学部

- 市川 順子 准教授 (足立医療センター麻酔科)
- 中島 義之 准教授 (八千代医療センター婦人科)
- 高木 博 教授 (足立医療センター整形外科) \*
- 坂元 晴香 准教授 (衛生学公衆衛生学) \*
- 垣内 五月 准教授 (母子総合医療センター) \*
- 中村 喜次 准教授 (心臓血管外科)
- 葎葉 清香 准教授 (足立医療センター歯科口腔外科) \*
- 堀内喜代美 准教授 (内分泌外科 (内分泌外科学分野))
- 星野 純一 教授 (腎臓内科) \*
- 細田 桂 教授 (消化器・一般外科 (上部消化管外科学)) \*
- 相星 淳一 教授 (八千代医療センター救急科) \*
- 笹川 智貴 准教授 (麻酔科) \*
- 菊山 正隆 准教授 (消化器内科) \*
- 古市 好宏 准教授 (足立医療センター検査科) \*
- 押淵 英弘 准教授 (神経精神科)
- 竹村 洋典 教授 (総合診療科) \*
- 丸子 一朗 准教授 (眼科)
- 緑川 光春 准教授 (生理学(神経生理学分野))
- 倉田 厚 教授 (病理学 (人体病理学・病態神経科学分野)) \*
- 福屋 泰子 准教授 (皮膚科)
- 松岡 尚史 准教授 (足立医療センター小児科)

#### 看護学部

- 國江 慶子 准教授 (看護管理学) [就任順 \*新任]

## 【議題2】会計報告：2021年度決算および監査報告

2021年度収支決算として以下のとおり報告する。

### 2021年度収支決算：収入

会費収入は、予算額 3,900,000 円に対して決算額 3,887,000 円で予算差 13,000 円減だった。雑誌刊行収入は、予算額 896,000 円に対して決算額 1,475,105 円だった。これは、2021年1月の英文誌投稿規程改訂により Submission Fee を新設し、予算計上しなかった投稿料による収入を得て、210,000 円増となっている。また、上半期に報告論文を予想より多く掲載したことにより著者負担金が増加したため 271,000 円増、そのほか、合本号において広告掲載を募り 50,000 円の収入増となっている。盾売却収入は、予算額 20,000 円に対して決算額 0 円、雑収入は、予算額 744 円のところ決算額 327 円だった。

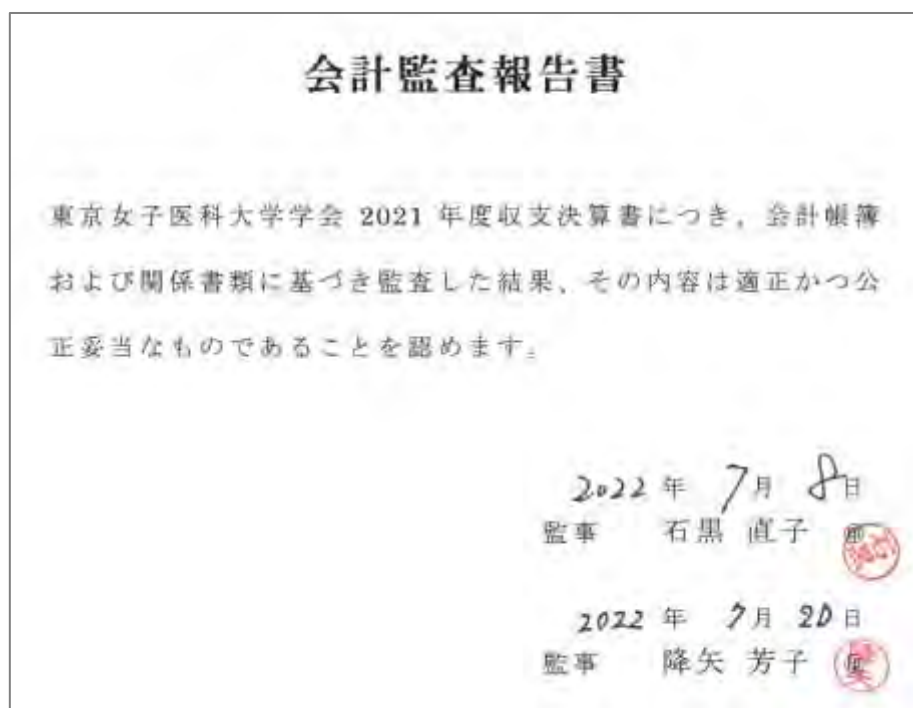
### 2021年度収支決算：支出

集会費は、予算額 900,000 円に対して決算額 631,633 円だった。会場開催を想定して予算立てしたため、WEB開催に変更したことにより設営準備費が大幅に減少した。出版費は、予算額 5,257,000 円のところ決算額 4,491,874 円だった。和文誌6号を発行していないため 200,000 円の減額。そのほか、予算時に見込んだ、英文書類の翻訳・校正費、依頼原稿の謝礼としての図書カード購入費、依頼原稿の転載許諾料・英文校正費が発生しなかったため 550,000 円の減額となった。経常費については、予算額 510,000 円のところ決算額 264,606 円。学会ホームページの更新料が予想より低額だったため 122,000 円の減額、念のため計上した備品費、修繕費を要することがなかったため 100,000 円の支出減となった。

### 2021年度収支決算：結果

前期繰越金 38,492,256 円を加えた収入合計 43,854,688 円に対し支出合計 5,388,113 円で、結果 38,466,575 円の繰越金を計上している。

以上の結果について、石黒直子・降矢芳子両監事の監査を受け、適正かつ公正であると認められている。



## 【議題3】会計報告：2022年度予算

2022年度収支予算案として以下のとおり報告する。

### 2022年度収支予算：収入

会費収入は、昨年度 3,900,000 円を計上したが、今年度は、現在の会員数と入金状況より算出し、前年度差 130,000 円減の 3,770,000 円とした。雑誌刊行収入については、英文誌が利用されることを願い、英文誌の投稿料と著者負担金を増加し、合本号において広告掲載料を募ることも想定して、前年度差 339,000 円増の 1,235,000 円を計上した。盾売却収入は、前年度同様 20,000 円を計上した。雑収入は、425 円で計上した。

### 2022年度収支予算：支出

集会費は、前年度差 24,000 円減で 876,000 円を計上した。出版費については、英文誌の編集環境整備への取り組みを想定して、英文校正費として 591,000 円を増額し、5,848,000 円を計上した。経常費については、前年度差 20,000 円を減額し 490,000 円を計上した。

### 2022年度収支予算：結果

前期繰越金 38,466,575 円を加えた収入合計 43,492,000 円に対し支出合計 7,214,000 円で、36,278,000 円の繰越金を計上する見込みである。

### 2021年度収支決算書（2021年4月～2022年3月）

収入の部		<単位:円>		
科目	2021年度予算額	2021年度決算額	差額	
前期繰越	38,492,256	38,492,256	0	
1. 会費収入	3,900,000	3,887,000	△ 13,000	
2. 雑誌刊行収入	896,000	1,475,105	579,105	
3. 盾売却収入	20,000	0	△ 20,000	
4. 雑収入	744	327	△ 417	
収入合計	43,309,000	43,854,688	545,688	
支出の部		<単位:円>		
科目	2021年度予算額	2021年度決算額	差額	
1. 集会費	900,000	631,633	△ 268,367	
2. 出版費	5,257,000	4,491,874	△ 765,126	
3. 経常費	510,000	264,606	△ 245,394	
支出合計	6,667,000	5,388,113	△ 1,278,887	
次期繰越	36,642,000	38,466,575	1,824,575	

### 2022年度収支予算書（2022年4月～2023年3月）

収入の部		<単位:円>		
科目	2022年度予算額	2021年度予算額	増減	
前期繰越	38,466,575	38,492,256	△ 25,681	
1. 会費収入	3,770,000	3,900,000	△ 130,000	
2. 雑誌刊行収入	1,235,000	896,000	339,000	
3. 盾売却収入	20,000	20,000	0	
4. 雑収入	425	744	△ 319	
収入合計	43,492,000	43,309,000	183,000	
支出の部		<単位:円>		
科目	2022年度予算額	2021年度予算額	増減	
1. 集会費	876,000	900,000	△ 24,000	
2. 出版費	5,848,000	5,257,000	591,000	
3. 経常費	490,000	510,000	△ 20,000	
支出合計	7,214,000	6,667,000	547,000	
次期繰越	36,278,000	36,642,000	△ 364,000	

## 【その他】集会担当幹事会からの報告

1. 第 88 回総会〔2022 年 9 月 24 日（土）13:10～15:40〕：  
「災害に強い医科大学を歩む」として 7 名の先生方にご登壇いただいでご講演いただく。前回同様、新型コロナウイルスの感染拡大に鑑み、シンポジウムは Zoom ウェビナーによるオンライン開催とさせていただきます（事前参加申込 9 月 20 日まで）。
2. 第 367 回例会〔2023 年 2 月 25 日（土）午後〕：  
10 月 31 日（日）を期日に、一般演題と研修医症例報告会への演題を募集している。開催方法は、社会情勢、感染状況をみて決定したいと考えている。事情ご理解の上、奮ってご応募いただきたい。
3. 第 39 回吉岡彌生記念講演会〔2023 年 5 月 22 日（月）午後〕  
講師は候補を募っており、現在、検討中。

## 【その他】編集担当幹事会からの報告

1. 和文誌：第 93 巻掲載シリーズ  
例年、和文誌に掲載しているシリーズは、「遺伝医学のアップデート：基礎医学から臨床現場まで」として「遺伝医学」をテーマに 6 名によりご執筆いただく。

ご所属	ご推薦／執筆者	仮題
分子細胞生理学分野	三谷昌平 教授	(1) 線虫のゲノム解析について 人の疾患発症モデルとしての意義、実例を挙げての解説
統合医科学研究所	赤川浩之 准教授	(2) 脳動脈瘤の原因遺伝子の解析
ゲノム診療科	斎藤加代子 特任教授	(3) 脊髄筋萎縮症の原因遺伝子と治療薬の開発
膠原病リウマチ内科	針谷正祥 教授	(4) リウマチのオーダーメイド医療の現況、発症予測、IORRA、ファーマコゲノミックス、家族性地中海熱、などから選択
成人医学センター	岩崎直子 教授	(5) 単一遺伝子疾患としての糖尿病に対する個別化医療
ゲノム診療科	松尾真理 特命担当教授	(6) 遺伝医療におけるゲノム診療科の役割－遺伝カウンセリングの意義－

2. 総会特集  
第 88 回学会総会シンポジウム「災害に強い医科大学を歩む」の講演内容を掲載する予定。
3. 英文誌：PMC 申請  
雑誌の国際性を高めることを目的に、PMC 掲載に向けた取り組みを 2020 年 4 月より開始した。投稿規程の改訂、倫理規程と査読規程の制定を行い、同時に、SCPJ と DOAJ への掲載を得た上で、2021 年 12 月に正式に申請をした。残念ながら、今回は不採択だったが、この挑戦により、国際基準に則った規定に整えられたこと、雑誌の問題点が明確になったこと、の貴重な成果はあったと考えている。2 年後の再申請に向けて、JST による 2022 年度ジャーナルコンサルティングへの参加、査読受理後の全論文に対する英文校正の導入など、当誌の quality を向上するために実施可能な取り組みを、今後も続けていきたいと考えている。
4. 英文誌：プレプリント  
2022 年 5 月より、世界の動向に倣い、プレプリントの投稿を受け付けることにした。